



### 議員研修会で熱弁を振るう河崎曾一郎氏

8月3日、県南6市議会議長会研修会がグリムの館で行われました。政治ジャーナリストの河崎曾一郎氏に、「総選挙の行方～カギ握る無党派の徹底分析も～」という演題で講演していただきました。



# しもつけ Shmotsuke-City 市議会だより

## 平成21年第3回定例議会

決算を認定	2
各常任委員会付帯意見	4
議員定数は21名に	7
補正予算を可決	8
市政をただす～一般質問～	10
議会運営委員会視察研修報告	14

NO.14

平成21年11月15日発行

発行：栃木県下野市議会  
編集：議会広報特別委員会

ホームページ：<http://www.city.shmotsuke.lg.jp/>  
E-mail：[gikal@city.shmotsuke.lg.jp](mailto:gikal@city.shmotsuke.lg.jp)



平成21年 第3回  
**定例議会**

9月1日～11日

平成20年度一般会計ほか11会計

# 決算を認定

歳入合計 約335億9918万円、歳出合計 約324億349万円



平成21年第3回（9月）定例議会は、9月1日から11日までの11日間の会期で開催されました。  
今定例議会では、平成20年度各会計決算の認定、平成21年度各会計補正予算、及び市議会議員定数条例の制定を中心に計45件の議案が提出され、慎重審議の結果すべての議案が原案のとおり可決されました。  
また、一般質問では7人の議員が、それぞれ市の対応や考えを問いただしました。

平成20年度の一般会計ほか11会計については、9月1日の本会議にて概要の説明が行われた後、瀧沢政彦代表監査委員の決算審査報告がありました。  
また、4日の本会議では、総括質疑を経て各常任委員会に付託され、7月9日にかけて各委員会で慎重に審議されました。  
そして最終日の11日には、各常任委員会委員長から意見を付した審査結果報告がなされ、採決の結果、付託されたすべての会計が、議員全員賛成にて認定となりました。

■平成20年度 各会計決算状況

(千円)

会 計 名	決 算 額				
	歳 入	歳 出	差 引 額		
一 般 会 計	198億1807万7	188億1154万2	10億653万5		
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	54億9723万4	50億7679万8	4億2043万6	
	後 期 高 齢 者 医 療	3億6180万7	3億4889万1	1290万9	
	老 人 保 健	3億7188万5	3億6552万9	636万2	
	介 護 保 険 ( 保 険 事 業 勘 定 )	24億6354万6	23億2570万9	1億3783万7	
	介 護 保 険 ( 介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定 )	396万2	255万2	141万0	
	公 共 下 水 道 事 業	27億4286万8	26億4071万4	1億215万4	
	農 業 集 落 排 水 事 業	4億8886万4	4億7408万0	1478万4	
	下 古 山 土 地 区 画 整 理 事 業	8464万7	8335万4	129万3	
	石 橋 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	1640万7	1538万4	102万2	
	仁 良 川 地 区 土 地 区 画 整 理 事 業	6億9824万6	6億233万7	9590万9	
特 別 会 計 合 計	127億2945万8	119億3534万2	7億9411万6		
企 業 会 計	水 道 事 業	収 益 的 収 支	8億7823万4	7億3473万1	1億4350万3
		資 本 的 収 支	1億7341万3	9億2188万0	△7億4846万7
企 業 会 計 合 計		10億5164万7	16億5661万1	△6億496万4	

※千円未満は四捨五入しています





■財政健全化判断比率及び資金不足比率の状況

項	目	平成20年度	平成19年度	早期健全化基準 又は 経営健全化基準
判断全 比率化	実質赤字比率	-	-	12.97%
	連結実質赤字比率	-	-	17.97%
	実質公債費比率	13.9%	15.0%	25.00%
	将来負担比率	28.5%	42.8%	350.00%
資金不 率足	水道事業	-	-	20.00%
	公共下水道事業	-	-	20.00%
	農業集落排水事業	-	-	20.00%
	下古山土地区画整理事業	-	-	20.00%
	石橋駅周辺土地区画整理事業	-	-	20.00%
	仁良川地区土地区画整理事業	-	-	20.00%

※赤字を生じていない等の理由により「該当なし」の場合は「-」表記

実質公債費比率…市の借金の返済金が税などの一般財源に占める割合。低いほうが望ましい。  
将来負担比率…将来負担の大きさを示す指標。低いほうがよい。

市の財政は  
まずと  
健全

実質公債費比率  
13.9%  
(前年比△1.1%)

平成20年度各会計決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率が、監査委員の意見を付して報告されました。

報告によると、健全化判断比率のうち、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は該当がなく、実質公債費比率は13.9%で、前年より1.1%の減。将来負担比率は28.5%で、前年より14.3%減でした。また、資金不足比率についても、資金不足は生じておらず該当ありませんでした。これらの数値は低いほどよく、基準値よりも下回っています。

したがって、本市の財政はひとまず健全化に向かっているとと言えます。

代表監査委員  
決算審査意見



瀧沢政彦  
代表監査委員

より質の高いサービスができるよう一層努力を

一般会計及び特別会計

○歳入について  
市税の徴収率は前年度を上回っているが、さらなる徴収努力を望む。

○歳出について

①人事評価制度は平成23年度に本格実施の予定であるが、評価者である管理職の研修が重要であることを認識し、今後の市行政を担う人材育成に資する人事評価制度となるよう期待する。

②ふれあい館などの社会福祉3館は平成20年度決算においても約1億6300万円の赤字になった。施設機能集約プロジェクトチームが検討結果

を本年2月に市長に対し報告したが、現状に大きな改善は見られない。今後の運営管理についてさらなる対応を求める。

③仁良川地区土地区画整理事業の計画見直しについては、地域関係者の理解を得て慎重に進めるとともに、保留地処分推進等事業費の確保に努められたい。

④消防団施設整備については、南河内地区の施設に老朽化が見られる。早急に検討されたい。

⑤学校教育では「下野市教育情報ネットワーク」通称けやきネットが開始された。個人情報流出についての運用規定を早急

水道事業会計

①水道料金の統一ができたことを評価する。今後企業会計としての効率性を十分発揮し、水道事業の健全運営を確保されたい。

②水道料金の未収金は徐々に回収されつつあるが、徴収対策を強化し、安定した経営基盤を確立し、安全かつ安定した給水体制の維持に努められたい。

総括意見

予算の効率的・効果的な執行を図ることはもとより、行政評価による事務事業の見直しと経営改善に積極的に取り組み、より質の高いサービスができるよう一層努力されることを望む。



# 決算審査付帯意見

## 総務常任委員会

### 情報格差の解消

本市は地域情報化推進事業を進め情報格差の解消を目指したが、薬師寺局管内での光回線加入率は低い。引き続き加入者の増加に努力されたい。

### 投票立会人

選挙における投票立会人は、同一人が継続選任されないよう、より多くの市民の参画を促す方策を検討されたい。



▲より見やすくわかりやすい紙面を

### 広報紙

広報紙は行政と市民を結ぶ有力な媒体であるので、読みやすく分かりやすい紙面づくりに一層尽力されたい。

### 行政カレンダ―

地域の連帯感が希薄化する中で、地域社会との関係性を構築する手立てとして、行政カレンダ―を有効利用されたい。

### 市税

本市歳入の根幹をなすものなので、収納率の向上には引き続き努力願う。また、悪質な滞納者に対しては差し押さえ等断固たる態度を望む。

### 国民健康保険税

本市の国民健康保険特別会計の財政調整基金保有額は県内でも一頭地を抜く。財政の健全性を示しているが、原資は国保加入者の保険税であり、加入者には過重な負担を強いられた結果とも言える。財政の安定を急ぐ余り被保険者の利益を毀損しないよう、保険料率の改定を含めて判断すべき。

### 土地開発基金

土地開発基金活用により以前先行取得した用地の一般会計への買い戻しを行う際、定期預金金利相当分を加算したが、利率を間違えて予算計上してしまい、多くの不用額が発生した。今後このようなことのないよう望む。また、同基金で取得した土地は特別養護老人ホームに無償貸与しているが、市の財産でもあるので、貸借関係を改めて明確化する必要がある。



▲委員会のように



▲市内各地に設置された屋外拡声器





▲ふるさと道場（柴地内）ではそば打ちができます

### ふるさと道場

ふるさと道場（そば打ち体験施設）は利用頻度が高いが、全市的に知られているとは言いがたい。市民への周知に努められたい。

### 道の駅

敷地造成工事に入っただけで安全確保に配慮されたい。出荷・出店者選定委員会は、地域振興の観点で十分に考慮されたい。

### 物産館淡墨亭

施設本来の物産館としての機能が損なわれないよう指導されたい。

# 経済建設常任委員会

### 生活道路

生活道路未整備の地区においては、整備方針及び手続き方法を周知し、早期解消に努められたい。

### 仁良川区画整理事業

仁良川地区土地区画整理事業については計画見直しに着手した。早期に住民への説明会を開催し、理解と納得が得られるよう努力されたい。

### 農業委員会定数

行政全般において経費削減が求められている現状をかんがみると、委員定数についての見直しが必要と思われる。

### 地産地消推進

学校給食における地産地消推進事業費は県費のみだが、市においても積極的な事業展開を望む。



▲淡墨亭は物産品の充実を



▲敷地造成工事が始まった道の駅

### 石橋南部地区調整池

石橋南部地区調整池に流入が予定されている国道4号線雨水排水の水質に留意されたい。

### 下水道

下水道使用料、分担金、負担金についても滞納繰越分の徴収率が極端に低下するので、収入未済の解消に努力されたい。



▲石橋南部地区調整池の水質に留意を





▲温浴施設利用者増の努力を

**ふれあい館等**

ふれあい館、きらら館、ゆうゆう館の今後について、入浴施設等の経費削減だけにとらわれず、市の将来像に照らした3館の活用を検討されたい。また、利用者減の要因を精査し、利用者増の努力を求め、3館の行く末に不安をいなく市民もいる。市は機会をとらえて説明に努められたい。

**生活習慣病検針**

青年期の市民に対する生活習慣病予防への意識啓発は大切である。青年期生活習慣病検診受診率向上を図られたい。

**介護予防**

介護保険特別会計は、今後介護給付費の伸びが予想される。介護予防に力点を置き、介護給付費抑制に努力されたい。

**新型インフルエンザ**

新型インフルエンザは関係機関と連携を密にし、迅速かつ適切な対応が図れるよう取り組まれたい。

**教育福祉常任委員会**

**学校耐震化**

国分寺小学校等の耐震化事業は年次計画より前倒して施工されたことを評価する。今後着手の校舍耐震化工事等についても整備促進を要望する。

**史跡保存整備**

下野国分寺跡等の史跡保存整備を評価する。今後は「道の駅」等と連携し、市内外に広報されたい。



▲下野国分寺跡（講堂跡）



▲今年、南河内地区では市民体育祭の代わりにスポーツフェスティバルが開催された



▲新型インフルエンザ対策ガイドライン

**奨学金**

不況時の緊急措置として行われた「入学準備金臨時貸付事業」は、周知の遅れ等により申請者が少なかった。同時期に制定された「奨学金貸付事業」については、関係機関及び保護者に周知し、有効活用を図られたい。

**市民体育祭**

市民体育祭が全地域で開催されなかったことは残念であったが、球技大会を開催したことは評価する。健康維持、体力向上、コミュニケーション、ニティ活力向上のため、今後もスポーツの普及に努められたい。



# 議員定数は21名に

## 市議会議員定数条例を可決



7月17日に行われた議会活性化特別委員会での決定を受け、市議会議員定数条例が議員提案議案として提出され、採決の結果、賛成多数により可決されました。

これにより、来年4月25日に執行される予定の市議会議員一般選挙（議員の任期は5月1日より4年間）から、本市議会議員の定数がこれまでの24名から、3名削減の21名になります。

## 市議会議員定数条例を一部改正

### 各常任委員会の定数を7名に

市議会議員定数条例が可決されたことに伴い、各常任委員会（総務、経済建設、及び教育福祉の3委員会）の定数を、それぞれ現行の8名から7名に変更することを賛成多数により可決し、改正しました。

なお、この条例は次の一般選挙からの施行となります。

# 委員会の調査を終了

## 議会活性化特別委員会委員長報告

議会活性化特別委員会の調査結果報告が、大島将良委員長より右表のとおりありました。

報告の後、当委員会の調査を終了することに対し、村尾光子議員から反対討論、続いて岩永博美議員から賛成討論がありました。採決の結果、賛成多数により当委員会の調査を終了することが決定されました。

## 議会活性化特別委員会調査項目と結果

No.	調査項目	調査結果
1	議員定数及び報酬の検討	議員定数21名 報酬は特別職報酬等審議会に委ねる
2	政務調査費の検討	当分の間導入しない
3	党派制の検討	導入しない
4	議会基本条例の検討	今後、調査・研究してから検討する
5	委員会方式導入について	導入する

## 村尾光子 議員

十分な審議が尽くされたとは言えない。議会基本条例をつかって議会の役割は何かを明確にすることが重要。また、定数削減ではなく、議員報酬や期末手当の縮減、廃止による人件費総額の削減を図るべき。

よって、賛成できない。

**討論**

## 岩永博美 議員

何度も委員会を開いて検討しており、議員定数は社会情勢から増員はできない。議員の報酬及び期末手当を削減しても3名削減分には及ばない。また、議会基本条例は条例化に最低2年以上の検討が必要である。来年の改選まで残期間が短いので不可能。

よって、賛成する。



平成21年度  
一般会計他

## 補正予算を可決

中小企業支援に1億1440万円



▲エレベータが設置されるJR石橋駅東口（石橋駅バリアフリー整備事業）

## ■平成21年度 各会計補正予算

(千円)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	7億2582万9	197億2054万6
特別会計		
国民健康保険	2億2756万7	52億7480万9
後期高齢者医療	1090万9	3億8706万4
老人保健	660万7	1760万7
介護保険(保険事業勘定)	9800万2	26億4000万2
介護保険(介護サービス事業勘定)	16万6	354万4
公共下水道事業	4427万7	15億1201万1
農業集落排水事業	1628万3	4億8791万9
仁良川地区土地区画整理事業	1000万0	5億2414万8
企業会計		
水道事業		
収益的支出	475万5	7億1182万6
資本的収入	△75万7	1億7948万2
資本的支出	△341万1	7億3041万8

平成21年度一般会計予算ほか9会計の補正予算案が提出され、左表のとおりすべて全員賛成にて可決されました。

今回の補正は、歳入では普通交付税、平成20年度決算に伴う繰越金、交付金等の確定や各特別会計の精算による繰入金の補正、各種基金の繰入金の調整等が計上され、歳出では、減債基金積立金、中小企業支援事業、

## ■一般会計補正予算の主な歳出

(千円)

事業	予算額
減債基金積立金	2億4000万0
子育て応援特別手当事業	6741万0
中小企業支援事業	1億1440万0
南1-2・国1-3号線道路情報提供施設設置	2200万0
南72・国4122号線道路情報提供施設設置	5500万0
石橋駅バリアフリー整備事業	4888万0

道路情報提供施設設置、石橋駅バリアフリー整備事業などが計上されました。

## 条例改正

## 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等を改正

人事院勧告に基づく国家公務員の勤務時間の短縮に準じ、職員の勤務時間を1日あたり8時間から7時間45分に改めました。また、病気休暇、産前休暇、夏季休暇の日数についても一部改正しました。

なお、この条例は平成22年4月1日から施行となります。

(全員賛成)

## 国民健康保険条例を改正

国民健康保険法施行例等の一部改正に伴い、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出産に係る出産育児一時金を、現行から4万円多い39万円を支給するよう一部改正しました。

(全員賛成)

## 水道料金審議会条例を改正

平成23年度予定の下水道使用料改正にあたり、水道料金審議会条例に下水道の内容を加え、上下水道が一体となった料金審議会となるよう一部改正しました。

(全員賛成)



# 政治倫理審査会委員 6名を選任

下野市政治倫理審査会委員の選任について、右記の6名の選任に同意しました。なお、委員の任期は、平成21年10月25日より平成23年10月24日までの2年間となります。

(全員賛成)

## ■下野市政治倫理審査会委員

氏名	住所	新・再
いしむらみつあき 市村充章	埼玉県上尾市大字瓦葺2716番地	再任
たなかみきこ 田中民樹子	小山市駅東通り3丁目33番11号	再任
おおくぼよしお 大久保芳雄	下野市駅東一丁目1番8-3号	再任
たてのよしのり 館野嘉宜	下野市田中683番地35	新任
すずきいさひ 鈴木いさひ	下野市駅東六丁目8番5号	新任
たぬまさちこ 田沼幸子	下野市下石橋355番地4	新任

## 報告事項

### 平成20年度下野市継続費精算報告

都市計画マスタープラン策定事業が平成20年度で終了したため、規定により報告を受けました。支出済額は2383万5千円でした。

### 平成20年度財団法人グリムの里いしばしの経営状況説明

地方自治法の規定により、グリムの里いしばしの経営状況の報告を受けました。

### 平成20年度財団法人下野市農業公社の経営状況説明

地方自治法の規定により、下野市農業公社の経営状況の報告を受けました。

### 専決処分の報告

道路の破損による車両の損害賠償について、専決処分したことの報告を受けました。賠償金は2万5千円でした。

### 平成21年度下野市教育委員会の点検評価報告

規定により教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価を行った結果の報告を受けました。

## 人事

## 人権擁護委員候補者に推薦

生澤里美氏（住所：下野市小金井1843番地3）を人権擁護委員の候補者として推薦しました。

## 市農業委員会委員に3名を推薦

### ■下野市農業委員会委員(議会推薦)

氏名	住所
あきやまかずこ 秋山和子	下野市町田900番地
かめだみよ 亀田みよ	下野市中大領185番地1
こんどうよつこ 近藤洋子	下野市国分寺1415番地

市農業委員会委員の議会推薦者について、左記の3名を推薦しました。なお、委員の任期は、平成21年9月4日より平成24年9月3日までの3年間となります。

市道路線の認定について  
開発行為に伴う帰属道路（川中子地内、延長38.2m、幅員6m）の認定に対し、議決しました。  
(全員賛成)

字の廃止及び町の区域の変更  
県営石橋南部地区土地改良事業の施行に伴い、字を廃止し、町の区域を変更することに対し、規定により議決しました。  
(全員賛成)

## その他の議案



▲購入が決まった消防ポンプ車

消防ポンプ自動車3台を購入するにあたり、落札業者の決定に対し、規定により議決しました。なお、購入金額は3台で2929万5千円となります。  
(全員賛成)

## 訂正

議会だより第13号において、事故線越しの説明に誤りがありました。事故線越しとは、避け難い事故のため年度内に支出が終わらなかったことにより行う線り越しのことです。訂正させていただきます。

区域外道路の認定に承諾  
下野市に隣接する壬生町六美地区雨水排水対策事業により、下野市区域内の一部の道路（延長1207m、市内延長399m、幅員5.8m）を壬生町町道として路線認定することに対し、承諾する議決をしました。  
(全員賛成)

工事委託協定の締結  
JR東日本と石橋駅東口ラチ外エレベーター設置工事委託協定を締結することに対し、規定により議決しました。なお、協定金額は2億2848万1千円となります。  
(全員賛成)



# 市政をたただす

## 一般質問

第3回定例議会では、9月2日及び3日に7人の議員が市政に対し一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。なお、質問文の掲載は1人につき1件としています。

### 目黒 民雄 議員



1. 後期高齢者と要介護高齢者の支援は
2. 小・中学校の二学期制導入について
3. 特色ある学校づくり及び教職員の定期異動は

**問** 特色ある学校づくりの現状と教職員の異動は

**答** 市学校教育計画及び県教委の異動方針を基本に対処

**問** 市内小・中学校の特色ある学校経営の現状・課題と、教職員の異動の基本方針について、教育長の見解を伺う。

**答** 教育長 特色ある学校経営については、

「下野市学校教育計画」に明示された、「知育・徳育・体育・勤労奉仕・郷土愛と異文化理解」の5つの事項を、学校教育

目標に位置づけて、地域の特性を生かし、その具現化・実践化に取り組むよう指導している。

特に今年度は、基礎基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成を図りつつ、小中学校間の連携を密にして、継続して関わるよう強調している。

次に、教職員異動については、県教育委員会

異動指針である、①適材適所、②職員組織の充実と職員の意識の高揚と資質の向上、③本県教育の刷新向上、④男女別・年齢等の職員構成の均等化、⑤地域性や環境、学校の特性等を考慮し、高い教育水準の確保を期し長期展望に立つて指導に努めている。



▲石橋北小学校で試験的に導入している「e-ラーニング」(1人学び支援システム)





## 吉田 聡 議員

1. 新庁舎建設について
2. 今後のまちづくりについて
3. 地域情報化について

**問** 庁舎建設委員会での審議内容や特例債の活用期限を考えると、非常に重要な時期にきている。建設場所の選定はどう進めるのか。市長の決断はいつ、どう公表するのか。また、合併協議会で候補地として残った国道4号西側が法改正により建設不可能となったが、関係機関と十分な協

**答** 議はされたのか。市長 委員会において、有利な合併特例債を活用し、平成27年度までに庁舎を新築するという方向性が示された。建設場所については、協議に時間が必要と考えている。委員会からの答申結果を踏まえ、議会と協議をしながら今年度内に基本構想を策定したい。

公表については、市広報等やタウントークなどを利用して説明したい。国道4号西側については、都市計画法、農振法の改正があり、市街化調整区域での建設は原則不可能となった。\*地区計画を立てれば建設可能であるが、特例債の活用を考えると、時間的に困難である。



▲どうなる？新庁舎建設問題



▲昨年の市民芸術文化祭のようす



## 岩永 博美 議員

1. 文化会館の建設について
2. 新学習指導要領について

### 問 文化会館の建設について

**答** 議会と連携して研究する

**問** 毎年下野市民芸術文化祭が実施されている。展示部門は、開催場所を移動し2日間の短い展示となっている。文化会館ができれば、ロビーや展示室等年間を通じて作品展示ができ、ホールでは大勢の人を収容して充実した発表会が可能である。下野市のシンボルとして、文化の発信

**答** 基点となる文化会館の建設をどのように考えるのか。市長 本市の将来都市像、「思いやりと交流で創る新生文化都市」を実現するには、市民主体の生涯学習の場として地域文化振興の充実と芸術文化活動の推進を図ることが重要である。本格的文化施設となる文化会館の建設は、多くの

市民が期待していると考えられる。今後は、近隣市町の施設規模、利用形態等を参考に市民の芸術文化活動の拠点施設としての利用内容、利用人口、利用頻度等の調査研究、さらに当市の財政運営を考慮し、建設手法も調査したい。広く市民の意見を伺いながら、議会と連携して研究していく。





## 磯辺 香代 議員

1. 入浴施設付き保健福祉3館の今後について
2. スズメバチ等の対策について

**問** 類似的機能を有するゆうゆう館、きらら館、ふれあい館については「行政改革大綱」の趣旨に沿って、「入浴施設の機能集約や各施設の特性を活かす」方向でプロジェクトチームが検討を進めていたが、今年3月に示された結論は当面今のまま営業するであった。しかも2館の入浴

**答** 施設は週3日休業し、プールは7、9月のみの営業とする等、さらなる利用者離れを招きそうな経費削減案が付いてきた。この結論に対し、さらに検討を加えているというが、どの方向で検討しているのか。

**市長** 3館とも旧町に根付いている。プロジェクトチームの結

**論** は、コスト削減をしながら営業し将来的に方向性を出すというものだった。今年「コストをどう考えるのか、それにより将来の方向性をどう見出すか」再度精査している。私は館が開いている限りは、施設を最大限有効活用すべきと思ってい



▲11月からふれあい館プールは試験的に入れ替え制なしに

### 問

ふれあい館など3館をどうするのか

**答** プロジェクトチームの結論を再度精査している



▲運行調査に使われた循環バス

## 塚原 良子 議員

1. 庁舎建設・パブリックコメントについて
2. 「公共交通検討委員会」に多様な市民の意見の反映を
3. 補助金の第三者評価について
4. 消費者庁設置に伴う本市の消費者行政の充実を



**問** 市は市内循環バス運行検討事業として平成21・22年度継続費957万円の予算を計上した。①本年度の事業内容を伺う。②昨年の循環バス運行調査は不評だった。再度循環バスの運行調査をするのか。③すべての市民を対象にアンケートを実施し多様な意見の集約を。④委員会において市

**答** 市長 ①補正で計上した費用は、下野市の公共交通のあり方について、コンサルからの情報提供業務委託費。②・③コミュニティバス、乗り合いタクシー、デマンド方式等の選択も含めたアンケート調査を今年度中に実施する。そ

の試験運行を実施し、さらにアンケートをとって最終的な運行体系を決める予定である。④許可は委員長の判断であり、委員会での傍聴者発言は規定がない。会議結果をホームページで示し、意見をいただくことになる。

### 問

公共交通検討委員会に多様な市民の意見を

**答** 市民ニーズを把握するアンケートを実施する

民に限る傍聴者の発言の許可を求める。

の後試験運行を実施し、さらにアンケートをとって最終的な運行体系を決める予定である。



# 村尾 光子 議員



1. 労働教育を実施されたい
2. ふれあい館プールのあり方について再考を求める
3. 市有バスの使用基準を明確にされたい

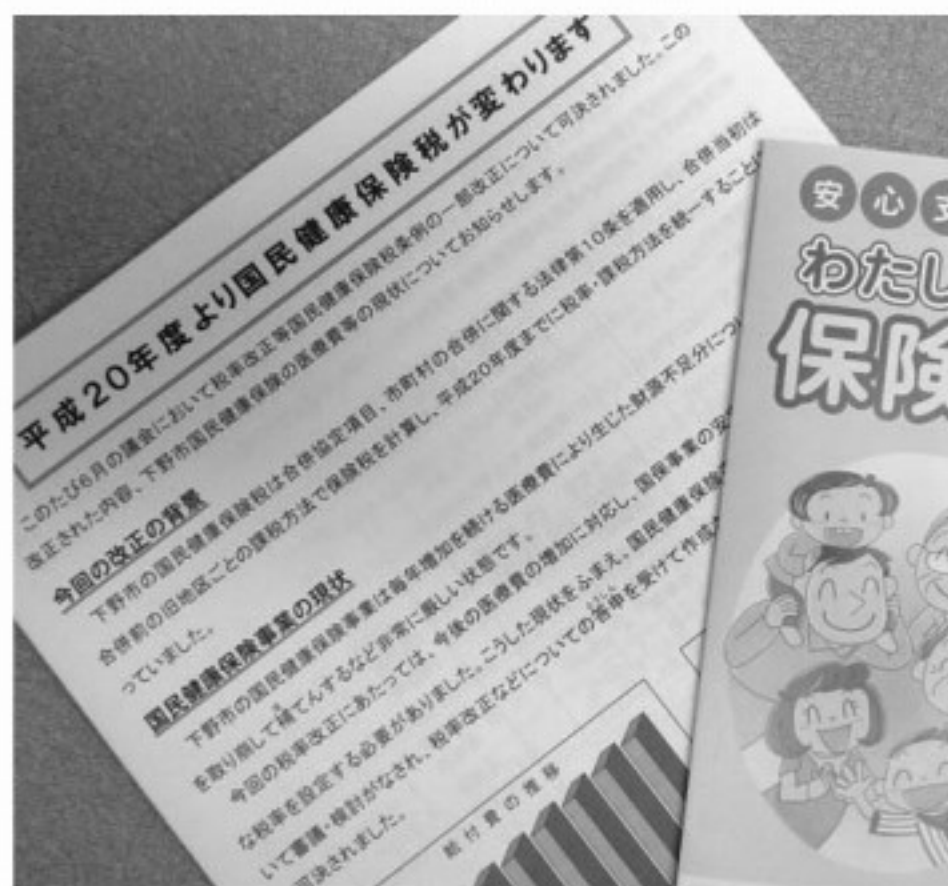
**問** 非正規雇用労働者が増加している昨今、社会保障や労働関係法制度に関する知識を身につけることが重要だ。小中学校の労働教育の実態はどうか。学年に応じた教育と教師自らが学ぶ機会の充実を求める。また、労働行政・教育行政連携のもとに市民への学習機会提供、相談体制充実と

**答** 周知策を講じられたい。教育長 小学校では体験学習を通して「勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成」を目指し、中学校では2年生の職場体験、3年生公民の分野で労働三権、労働三法について学習し、勤労の権利や義務、労働組合の意義、労働基準法の意味を理解す

る。教師が学ぶ機会は県教育委員会によるキャリア教育研修と職場体験研修で、本市教職員もホテルなど様々な職場職種で研修し、成果を上げている。今後も系統的計画的な労働教育を推進する。市長 商工観光課に相談窓口を設置し、青年等の学習機会となる事業を検討する。

## 問 社会保障や労働関係法制度に関する教育の充実を

答 学校では系統的計画的に推進、青年等には今後検討



▲国民健康保険税率は平成20年度に値上げ統一された

# 野田 善一 議員

1. 国民健康保険税改正の帰結を検証する



## 問 国民健康保険税率の改正を検討せよ

答 国保財政の推移を見て判断

**問** 本市の国保特別会計の剰余金は平成21年度現在7億8406万円、1人当たり基金保有額も県内14市中群を抜いて多い。財政の健全性を雄弁に物語る数値ではあるが、国保の基金の原資は国保加入者の保険税であり、加入者にとっては過重な負担を強いられた結果ともいえる。今後、

**答** 市長 当市は合併当初、国保税率について旧3町ごとの課税方式を採用していたが、20年度に改正し統一した。改正の経緯として、後期高齢者医療制度の開始、

新型インフルエンザの流行等不確定な要素はあるものの、加入者の利益を優先させ、保険料率を引き下げるべきと思うが。団塊世代の退職に伴う加入者の増加、1人当たりの医療費増大等を勘案した。主な改正点は、以上の経緯を踏まえて国保税率を算定したこと、応能応益の割合を50対50にしたこと等である。結果として税額が上がったが、税率の改正については財政の推移を注視しながら判断する。



▶「NPO法人あったかサポート」が作成した労働関連のテキスト



# 議会運営委員会視察研修報告

9月29日 栃木県真岡市  
30日 茨城県日立市



▲日立市役所にて坂村委員長があいさつ

議会運営委員会は、議会運営を円滑に図る使命がある。本市議会は、来年4月改選後の定例議会から委員会制を導入すること準備を進めている。会期日程の組み方、一般質問の取り決めを中心に視察研修してきた。

会期日程は、真岡市日立市ともに2〜4週間と長期の日程を組んでおり、これは会期中の常任委員会や委員長報告書作成等に要する時間を考慮に入れたものであった。

一般質問の取り決めは、両市とも定例会開会日までに一般質問通告書受付を行い、質問が重複しないよう調整していた。また、日立市では年間質問時間を1人100分以内と定めていた。

これらを参考にしながら、今後の議会運営を考えていきたい。

(委員長 坂村和夫)

## 議会の動き

### 8月

- 3日 栃木県南6市議会議長会研修会  
(グリムの館 ~総選挙の行方~)
- 11日 経済建設常任委員会
- 17日 総務常任委員会
- 18日 教育福祉常任委員会
- 20日 議会運営委員会  
議員全員協議会
- 21日 小山広域保健衛生組合議会臨時議会
- 27日 議員全員協議会

### 9月

- 1~11日 第3回定例議会
  - 1日 開会・議案説明・一部採決
  - 2・3日 一般質問(7人)
  - 4日 一部議案採決
  - 7~10日 各常任委員会決算審査
  - 11日 決算認定採決・閉会
- 4日 議会運営委員会
- 11日 議会広報特別委員会
- 29・30日 議会運営委員会視察研修  
(真岡市・茨城県日立市 ~議会運営~)

### 10月

- 1日 ドイツ・ディーツヘルツタール市との姉妹都市提携調印式 (グリムの館)
- 14・15日 栃木県市議会議長会会議 (小山市)
- 15日 兵庫県播磨町議会視察来庁  
(水道料金統合について)
- 19日 栃木県南公設地方卸売市場事務組合定例会
- 27日 秋田県男鹿市議会視察来庁  
(集中改革プランについて)
- 29日 議会運営委員会  
議員全員協議会
- 30日 小山広域保健衛生組合議会定例会
- 5・21・29日 議会広報特別委員会

## 市議会本会議の会議録が閲覧できます。

- ①ホームページで閲覧  
会議録検索システム  
<http://www.kaigiroku.net/kensaku/shimotsuke/shimotsuke.html>
- ②市内3図書館で冊子で閲覧  
・南河内図書館 ・石橋図書館 ・国分寺図書館

## 議会を傍聴してみませんか？

本会議当日、市役所国分寺庁舎3階で備え付けの受付票に記入するだけです。  
次回、平成21年第4回定例議会は11月30日(月)開会を予定しております。

日程が決まり次第、市ホームページ  
<http://www.city.shimotsuke.lg.jp> でお知らせいたします。

## 編集後記

昨年6月、議会広報委員に選任され約1年半が過ぎた。

この間、私たち委員は、この議会だよりが少しでも市民の皆様へ愛読していただけるよう「読みやすく、わかりやすい、親しまれる」

広報を目指して努力工夫してきた。

今年の5月に広報に関する視察研修を行い、先方の素晴らしいところ

を参考にしながら紙面の刷新を図った。その結果、多くの皆様から「簡単明瞭で内容も充実した」「とても読みやすく、また読みたくなる」などの好評をいただいた。

これからも自己満足することなく、市民の方々に愛され信頼される紙面づくりに、全力投球するよう努めてまいりたいと思う。

(目黒民雄)



### 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 磯辺 香代 |
| 副委員長 | 石田 陽一 |
| 委員   | 坂村 和夫 |
|      | 若林 稔  |
|      | 野田 善一 |
|      | 目黒 民雄 |

次号(第15号)は2月15日に発行します